



桃山学院大学
St. Andrew's University

2022年5月9日

報道関係各社 御中

【5月10日(火) 14:40~17:50】

《 桃山学院大学×和泉市 》

学生と自治体が共同で課題解決に挑む！

官学連携の課題解決型授業を対面で実施

【本件ポイント】

- ◎桃山学院大学ビジネスデザイン学部では、今年度春学期に和泉市と官学連携してPBL (Project Based Learning:課題解決型授業) を対面で実施しています。
- ◎同学部1年次の学生たちが自治体関係者と共に課題解決に取り組みます。
- ◎当日は学生たちが、課題に対する調査分析を自治体関係者と共に行います。
- ◎授業は2021年度グッドデザイン賞を受賞した、大阪市内の最新ビル型キャンパス「あべのBDL(ビジネスデザイン・ラボ)」で行われます。
- ◎対面による授業風景等の撮影、教員、学生へのインタビュー等の個別対応が可能です。

 **GOOD DESIGN AWARD 2021**



(あべのBDL)



(あべのBDL)



(PBL 授業の様子※イメージ)



(グループワークの様子※イメージ)

【詳細】

桃山学院大学（大阪府和泉市、学長：中野瑞彦、2022年4月1日時点：学生数6,727人）ビジネスデザイン学部では、70を超える企業・行政・団体と連携し、学生、教員、企業人がビジネスの視点から社会課題を解決するための新しい仕組みを考える実践的な学びを実施しています。

2022年度春学期の授業では、和泉市と官学連携し約3ヶ月間かけて同授業を実施します。今回、学生たちは和泉市が地域活性化のために掲げている3つのゴール「定住促進」、「来訪促進」、「ビジネス促進」から1つを選択し、和泉市の魅力を高める具体的な企画・提案を行うという課題に取り組みます。学生たちは授業を通じ、課題解決のための基本的なプロセスやスキルを学びながら、自治体関係者らと共に課題解決に挑みます。また、5月10日の授業では、事前に与えられた課題に対する調査分析を学生たちと自治体関係者らが共に行います。

あべのBDLは、延床面積約6,700㎡のビル型キャンパスであり、十分なソーシャルディスタンスを確保、サーモグラフィ検温チェック、マスク等の着用、教場の消毒・除菌・清掃、看護師の常駐など、感染症対策を十分に講じたうえで対面授業を実施しています。また、キャンパス内は従来の教場イメージではなく、新たなビジネスを生み出すための学びの空間として近年企業等でワーキングスペースとしても取り入れられている、交流と共創を促す最新のフロア設計となっています。そのような環境が評価され、聖テモテ館は2021年グッドデザイン賞を受賞しています。

【授業に関する詳細】

科目名：PBL 入門 I（ビジネスデザイン実践科目）
対象学生：1年次生（202名）
日時：2022年5月10日（火）14:40～17:50（予定）
連携企業：和泉市
実施場所：桃山学院大学あべのBDL（ビジネスデザイン・ラボ）
住所：大阪市阿倍野区昭和町3-1-57 聖テモテ館4階～9階

ビジネスデザイン学部に関する、各種ムービーは各QRよりご確認ください。



（ビジネスデザイン学部紹介ムービー）



（UCC コーヒー ロエッショナル様とのオンライン PBL ムービー）

以上